

テニスリーグ大会における熱中症対策について

1 熱中症特別警戒アラートが発令された場合について

下記連絡方法は、大会要項に定める日程を対象とする。

それ以外の日程で試合を行う場合は、その日試合を行う高校の顧問間で連絡を取り合うこととする。

前日 14 時に環境省 HP で熱中症特別警戒アラートが発表された



大会事務局、横浜地区委員長が確認の上、15 時までに各リーグ担当者へ中止のメール



速やかに各リーグ担当者から各リーグ顧問にメールの転送等で連絡

2 選手の安全のための棄権判断について

第 8 ゲーム終了後（ゲームカウントが 4-4、5-3 になる）、あるいは明らかに選手の不調が疑われる場合



できる限り複数の顧問でコートに向かう（コートに到着した段階で、その時のポイントに関わらず試合を一時止めさせる）



コート内で選手の体調を確認し、試合を続行させることが危険と判断されれば、生徒の意思に関わらず、会場の顧問の判断で試合を棄権させる。（判断に迷う場合、3 分間の回復時間を取れることを提示し、3 分後に回復が見られない場合は棄権とする、という対応をとる。なお、公式ルールブックより、原則として選手は自分の試合が終了するまでコートの外に出ることができない点に注意すること。）

また、「試合結果記録用紙」、「リーグ勝敗表」には、その時点でのゲームカウントをもとに、棄権させた選手に応じて下記のように記録する。

例① A5 - 3B で、選手 B が棄権 ⇒ 「㊟ - 3」と記録（A は勝者扱い）

例② A5 - 3B で、選手 A、B がともに棄権

⇒ 「5 - 3」と記録（勝者はいない）

※ただしどちらの場合も、得失ゲーム差の計算には含める

※ダブルスの場合、ペアのどちらかが棄権した場合、ペアとしての棄権となる
以上を踏まえ、各校、可能な限り氷の用意など熱中症予防を講ずること。

問合せ先

県立白山高等学校 深田 峻史

TEL 045-933-2802